

平成 30 年度 富山県障がい者スポーツ指導員養成講習会の様子

12月2日(日) 富山県総合体育センター



帝京平成大学 泉先生から障がいに応じたスポーツの工夫について説明を受けました。



アイマスクを使って視覚を遮断したコミュニケーションの実施



めひの自閉症地域生活支援センター長 東先生による障害の理解とスポーツについて講義を受けました。

12月9日(日) セーナー苑



障がい者スポーツ指導員の先輩方と一緒に、障害者を対象としたスポーツを体験しました。用具や場の設定の工夫・ルール工夫等を体験しながら学びました。また、セーナー苑の利用者との交流も楽しみました。



横に寄り添いながらアドバイスの仕方を練習しました。コミュニケーションの大切さに改めて気づかされました。



約 30 名のスポーツ指導員と 35 名の受講生が一同に実技研修を行いました。



重度の障害者も行うことができる卓球バレーを体験しました。

12月15日（土） 県総合体育センター



障がい者スポーツ医 前田先生から肢体不自由者のスポーツについて講義を受けました。



県視覚障害者福祉センター所長 高島先生から視覚障害について講義を受けました。



県聴覚障害者センター施設長 小中先生から聴覚障害について手話を交えた講義を受けました。



熱心に講義を受ける受講生の皆さん。



医療法人社団重仁フィールド・ラベンダー施設長 伊藤先生から、精神障害とスポーツについて講義を受けました。



金沢星稜大学 池田先生からボランティア論について講義を受けました。



上級障害者スポーツ指導員 箕島さんからスポーツ指導員の役割等について講義を受けました。



京都産業大学 奥田先生から障がい者スポーツの意義と理念について講義を受けました。



グループによる意見交換を行いました。



4日間 19時間に及ぶ養成講習会が終了しました。
最後に恒川局長が、労いの言葉を掛け、一人ひとりに修了証を手渡しました。